

## 学校法人東京聖徳学園における中等教育段階の学校改革について

学校を取り巻く環境は、昭和から平成そして令和へと時代の遷り変わりとともに、少子高齢化による産業構造あるいはグローバル化や経済社会の変化、人口の減少に伴う学校間の競争の激化など著しく変化しています。これから訪れる新しい時代は、社会の在り方そのものが現在とは「非連続的」と言えるほど劇的に変わるとされる Society 5.0 時代の到来が予想されています。

このような急激な社会的な変化が進む中で、初等中等教育においては、子供たちが変化を前向きに受け止め、豊かな創造性を備え、持続可能な社会の創り手として、予測不可能な未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を一層確実に育成する学校教育への変化が求められています。

「良い教育は、良い環境から」を提唱し、実践してきた聖徳学園は、今が時代の転換期であると受け止め、松戸市にある聖徳大学附属女子中学校、聖徳大学附属女子高等学校、取手市にある聖徳大学附属取手聖徳女子中学校、聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校について、次世代型の新しい教育を提供する中等教育機関とするため、両校の経営資源と教育力を松戸校へ統合し、総力をあげて一体的かつ継続的な改編を次のとおり行います。

### <聖徳学園の学校改革>

#### ◇ 聖徳大学附属女子中学校及び聖徳大学附属女子高等学校

聖徳大学附属女子中学校・高等学校は、学校法人東京聖徳学園創立50周年の記念事業の一環として、昭和58年4月に開校しました。開校以来、日本の伝統文化についての理解を深め、気品ある女性の育成を目指して「小笠原流礼法」を正課として取り入れ、食育を重視した「会食」を実践するなど、独自の教育プログラムを通して清らかな気品と豊かな知性・情操を兼ね備えた、進んで社会に奉仕できる女性の育成を実践しています。

近年は、文部科学省の委託事業として「多様な学習成果の評価手法に関する調査研究」（平成25年4月～平成27年3月）に取り組んだことに加え、生徒が一人1台のタブレット端末を所有（平成27年10月）することにより先進的な学びを進めています。また、生徒一人ひとりに寄り添うきめ細やかな進路指導により、現役進学率99.1%、4年制大学進学率80.4%（ともに平成31年3月実績）と高い進学実績を誇っています。

部活動においてはゴルフ部・バスケットボール部・体操部・スキー部・バトン部においてインターハイ等の全国大会で活躍するチームや選手を輩出、吹奏楽部・マーチングバンド部・箏曲部・書道部等の文化部も盛んで、全国規模の大会ですばらしい実績を残しています。

「新たな学校」として、これまで基盤としてきた人間教育をより広げるとともに、先進的な学びによる確かな学力の育成効果をより高め、グローバル化する社会の発展に貢献できる人材を育成するため、次の改編を行います。

- 令和3年4月に男女共学化し、校名も変更し「さらなる進学実績を上げる文武両道の学校」としてスタートします。
- 令和3年4月より音楽科の生徒募集を「休止」します。

## ◇ 聖徳大学附属取手聖徳女子中学校及び聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校

聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校は、学校法人東京聖徳学園創立 50 周年の記念事業の一環として、高等学校を昭和 58 年 4 月、中学校を翌年の昭和 59 年 4 月に開校しました。開校以来、日本の伝統文化についての理解を深め、気品ある女性の育成を目指して「小笠原流礼法」を正課として取り入れ、食育を重視した「会食」を実践するなど、独自の教育プログラムを通して清らかな気品と豊かな知性・情操を兼ね備えた、進んで社会に奉仕できる女性の育成を実践しています。

部活動においてはインターハイ等の全国大会で活躍するチームやオリンピックに出場する生徒を輩出、吹奏楽部・箏曲部・かるた部・書道部等の文化部も盛んで、全国規模の大会ですばらしい実績を残しています。

平成 22 年に文部科学省より教育課程特例校として指定され、「女性キャリア」に取り組んできたことに加え、生徒一人ひとりに寄り添い、その可能性をとことん追求する、きめ細やかな進路指導により、現役進学率 95.3%、特別進学コースに於いては国公立大学・難関私立大学合格率 59.0%、また 2 年連続医学部医学科への合格者を出すなど、高い進学実績を誇っています。

今が時代の転換期であると受け止め、教育内容の更なる向上を目指し、学園の中等教育段階の教育について、次世代型の新しい教育を提供する中学校・高等学校として生まれ変わるため、経営資源と教育力を松戸校へ統合し、次のとおり学園の総力をあげて一体的かつ継続的な改編を行います。

- 総力をもって学校改革を成功させるため、次のとおり生徒募集を「休止」します。
  - 中学校は令和 3 年入学生より
  - 高等学校は令和 6 年入学生より
- ※ なお、休止にあたっては、最後のひとりが卒業する日までしっかりと寄り添い、質の高い教育活動を維持・提供します。そして、令和 8 年（2026 年）3 月に巣立つ生徒たちが、「最高の高校生活だった」と感じ、その保護者の皆様が満足してくれることを目指します。
- 「新しい学校」の姿の構築
  - 松戸校において新たに培った教育力を生かし、男女共学の「新しい学校」の創造を目指し検討を行います。

なお、両校の教職員は、この改革に関わるとともに、その教育力にさらに磨きをかけ、「新しい学校」の推進力となるよう努力し続けてまいります。

また、新入生はもちろん、在校生、卒業生、保護者の皆様、両校に関わるすべての方々にとって安心で満足のいく中学校・高等学校を作ってまいります。

### <問い合わせ>

学校法人東京聖徳学園 総務課

TEL：047-365-1111（大代）（内線 3809）

FAX：047-363-1401

E-mail：kaikaku@seitoku.ac.jp

以上